

血液が運んでいるのは命です みなさんの思いやりを……。

献血モデル事業がスタート

医学の発達により、血液の需要も年々増加しています。不足した血液情勢に対処するため、光町では光ライオンズクラブの協力を得て献血推進モデル事業をスタートさせました。

平成5年度から2ヶ年間
献血目標(平成5年度中)
献血者数 510人
献血量 102,000cc
献血の重要性をご理解いただき、町民のみなさんの温かなご協力をお願いします

す。今回の献血は、6月10日(木)に行います。なお、成分献血も行いますので、希望者は事前に保健衛生課へお申込みください。
☎ 1158



私は30代に入った頃、自分の健康状態を把握することができ、更に社会にささやかな貢献ができれば……と思い献血会場に向いたのが、献血との出会いでした。しかしその初めての献血では、血液の濃度の比重が悪く採血できませんでした。その時、激しいショックを受けたと同時に自分の健康状態を知る事ができ、やって良かった……と、強い念を抱いた事を覚えております。

回数数を数えております。今では、自分に与えられた義務でもあるかのような感覚になり、時期が来ると、何の抵抗もなく会場に足向きます。最近では、一寸時間はかかりませんが、血液中の血小板や血漿だけを献血する成分献血に協力しています。後日送られて来る検査結果を見るのも楽しみです。それにより、献血のたびことの長期的な変化が分かり健康管理にとっても役立っています。

献血者の声

献血は温かな心の贈り物

古屋 遊馬 とし子さん (写真左から3番目)

